

よく遊び、よく学べ 城崎の子

越前町立城崎小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	5回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ) 6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	22人
授業ボランティア(含:低ボラ)	45人
登下校支援ボランティア	48人
その他(交通安全教室、マラソン大会)	10人

(3) 特色ある活動

テーマ「健康や体づくり」

具体的活動内容

1 スクールプランより

本校のスクールプランでは、中期重点事項として『健康な体で、規則正しい生活を送る子を育てる』を掲げ、具体的には「健康な体づくり」や「生活習慣の育成」を目指している。

生活実態調査によると、家の中で遊ぶことが多い児童の割合は55%で、高学年になるほどその割合が多くなる。特に冬季になるほど屋外で遊ぶ児童の割合が減少し、ゲームで遊ぶ児童が多くなっていることが分かった。そこで、体を動かすことや友達、親とふれあいながら遊ぶことの楽しさを感じとらせ、家庭と連携しながら体と心を鍛えていきたいと考えた。

2 1,2学期の取り組み

地域の講師を招き、学期に1回ずつ全学年が、ペアやグループで協力しながら運動する場を設定した。そして、運動への意欲を高めるようにした。学校便りや学級便りで学校での取り組みを知らせ、健康な体づくりのための保護者への啓発を図った。

3 親子健康教室の開催

3学期には、親子健康教室を開催した。初めに、学校関係者評価委員長より、学校訪問した感想や、「健康な体づくり」や「生活習慣の育成」のためには、学校だけでなく家庭との連携や、家庭教育が重要であることなどについて、保護者向けに話をしてもらった。

次に、保健委員会が子どもたちの遊びの実態や運動の効用について発表した。そして、児童自らが進んで運動しようとはたらきかけた。

その後、講師の指導を受けながら親子で手軽にできる運動に取り組んだ。進行や模範演技など、PTA委員が中心となって進め、終了後、感想を交流し合った。「久しぶりに、親子で向き合っただけで体操ができてうれしかった。家でもやりたい。」等の感想が聞かれた。



〈学校関係者評価委員長より〉



〈親子で楽しく体操〉

成果と課題 全校的に運動への関心が高まり、その後も家でできる運動を継続的にしようとする親子が増えた。親子や親同士、子ども同士の絆が深まった。今後も運動への関心を持続させるためのはたらきかけをどのようにしていくかが課題である。